

例

四年

回数 〇
筆順 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
オン レイ
クン たど川える

成り立ち



「列(3442)」という字と、「イ」を組み合わせさせて作った字です。

「同じ列の人」という意味を表した字で、「なかま」という意味の字です。例一例、例外。

「同じ事がら」という意味にも使われます。例先例、前例。

「習わし」の意味にも使われます。例慣例、例祭、通例。また、「なかまの一つ(二例)」として取り上げれば」という意味で「例えば」という使い方もあります。

使い方

▽「例」という字は「なかま」という意味の字です。ですから、「一例」というのは、「なかまの一つ」という意味のことばです。それで、「一例をあげれば」ということを「例えば」と言うのです。

熟語例

▽例題(なかまの問題。これから解く問題の解き方を学習するための「同じような」問題のこと。)

▽例外(なかまから外れていること。なかまとちがっていること。特別なこと。)

▽前例(前にあったのと同じような事がら。「先例」と同じ意味のことば)

▽慣例(習わし。いつもそのように行っていること。しきたり)とも言います。)

▽例祭(いつも定期的に行っているお祭り。しきたりになっているお祭り)

▽定例(いつも行うことがはっきりと決まっていること。習わしでなく、きまりとして決められているものを言います。)

使い方

▽学歴(学歴だけはわかっていますが、経歴についてはほとんど何もわかっていません。)

▽履歴書(履歴書によれば、いくつもの学校長を歴任してきたことがわかります。)

熟語例

▽歴訪(人や土地を、次々と訪問して回ること。例有名な人を歴訪してその人生観を聞くという連載記事)

▽経歴(「次々と経験して来た事の数々」という意味のことばで、「学歴」や、社会で行って来た仕事)

▽履歴(「次々と履歴(実践すること)して来た事の数々」という意味。「経歴」と同じ意味)

▽歴史(世のうつりを記録した書物のこと。また、世のうつり変わり。また、「経歴」の意味にも使います。例彼の歴史は明治の歴史そのものである。)

▽歴然(「次々とならんでいる様子」を表したことばですが、様子が「はっきりとわかる」ことから、今では「物事がはっきりしている」ことを表すのに使います。例それは歴然たる証拠があつて、だれも否定することはできない。)

歴

四年

回数 14
筆順 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
オン レキ
クン 厩 厩 厩 厩 厩 厩 厩 厩 厩 厩 厩 厩 厩

成り立ち



本字は歴で、取り入れた稲(禾)を厩に並べてほした形を表した「厩」と、足の形を表した「止」とを組み合わせて作った字です。

歩いては次々と稲の束をならべて行くので、「次々とうつて行く」という意味を表します。「順を追って行く

「例歴訪」という意味の字です。

「世のうつり」「物事のうつり変わり」などの意味にも使います。例歴史、経歴。

また、「物事がはっきりしている様子」の意味にも使います。例歴然、歴々。